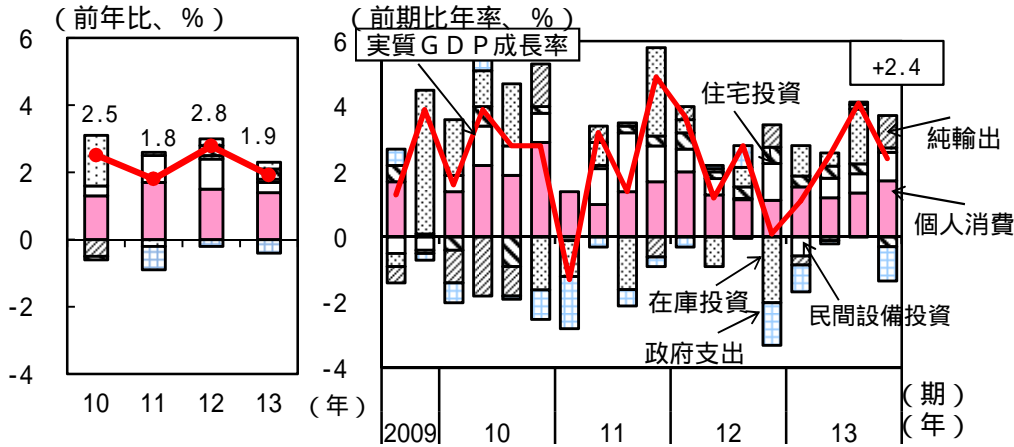


# 1. アメリカ

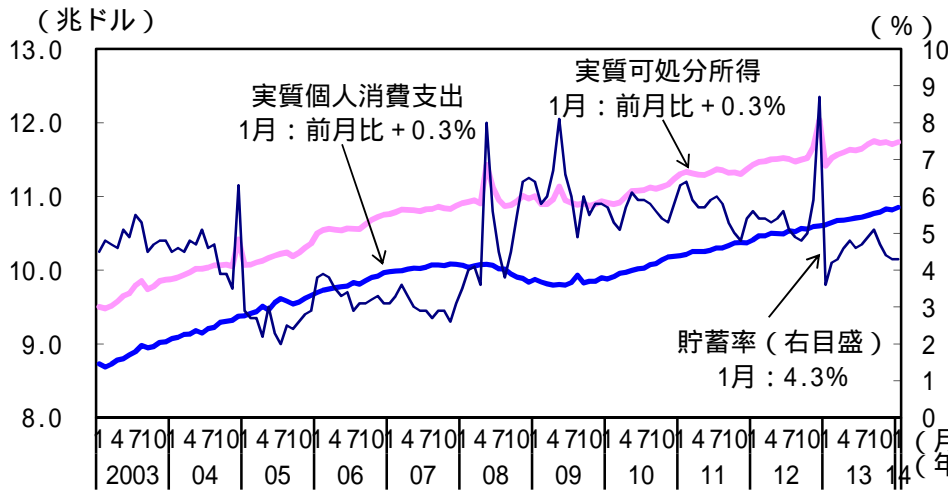
アメリカでは、景気はこのところ一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

実質GDP成長率（2次推計値）  
2013年10～12月期は前期比年率+2.4%成長



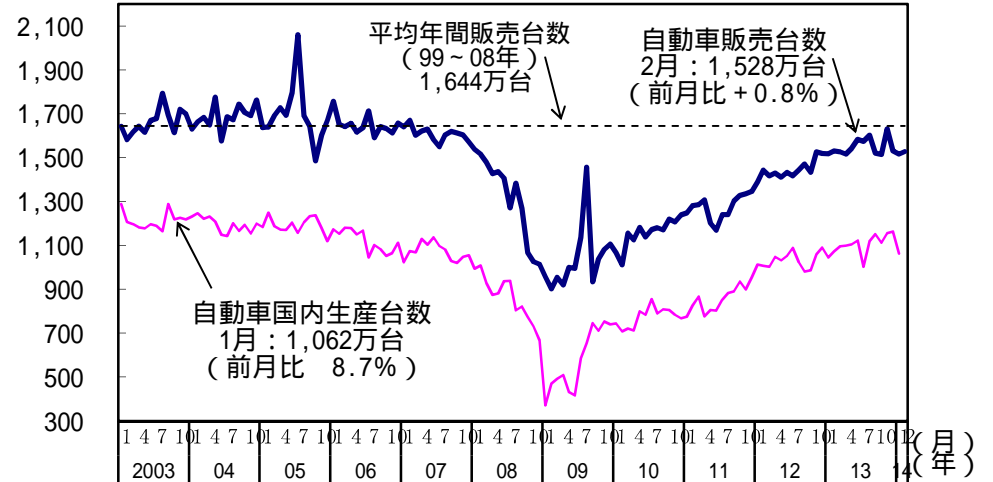
(備考) 2013年10～12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.7、民間設備投資：0.9、住宅投資：0.3、在庫投資：0.1、政府支出：1.1、純輸出：1.0。

消費は緩やかに増加



自動車販売台数はこのところ減少

(年率、万台)

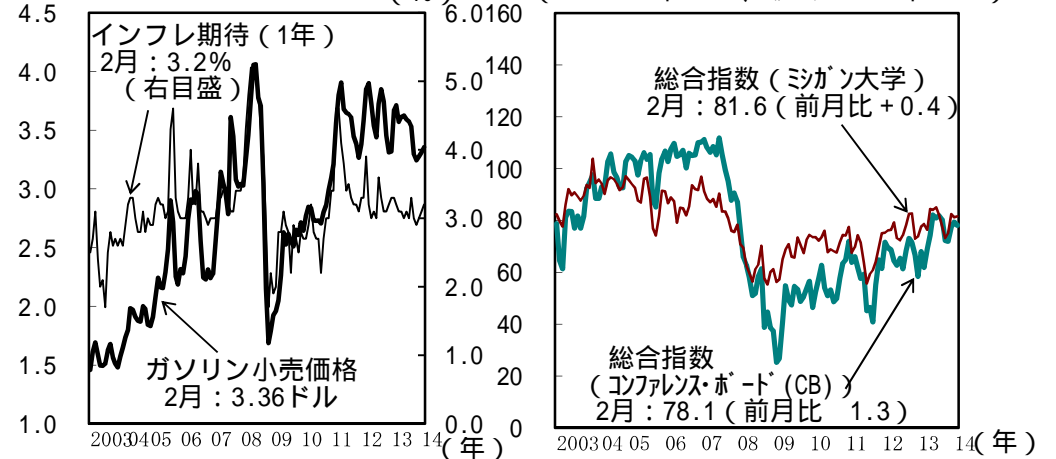


消費者信頼感指数は持ち直し

(ドル/ガロン)

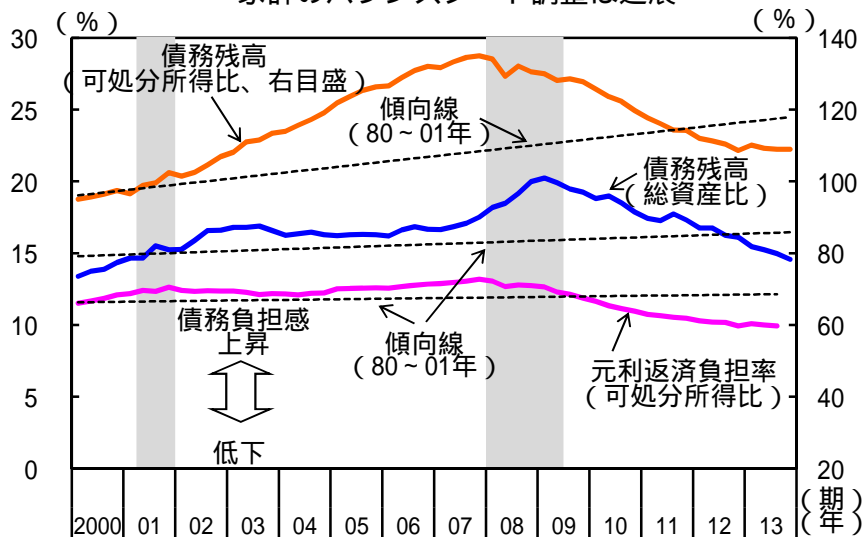
(%)

(CB: 1985年=100、シガン: 1966年=100)



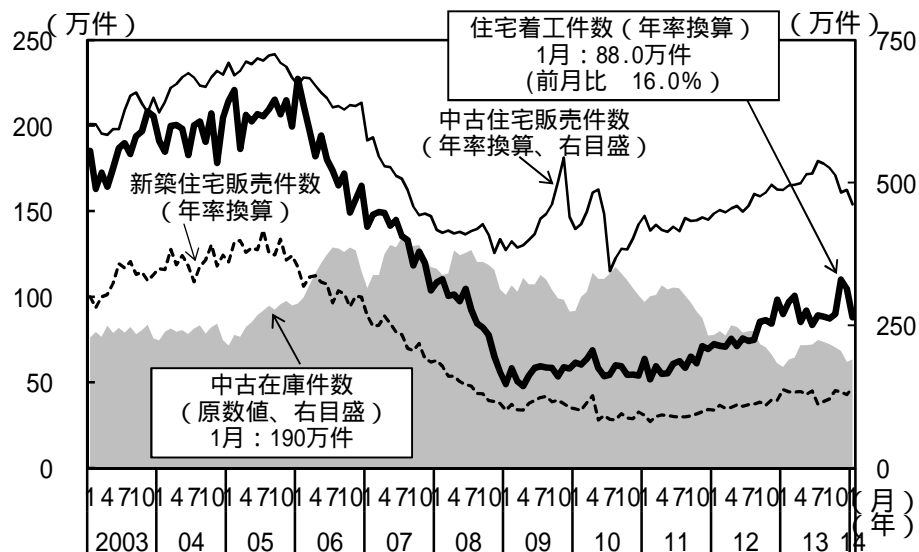
(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。  
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

### 家計のバランスシート調整は進展



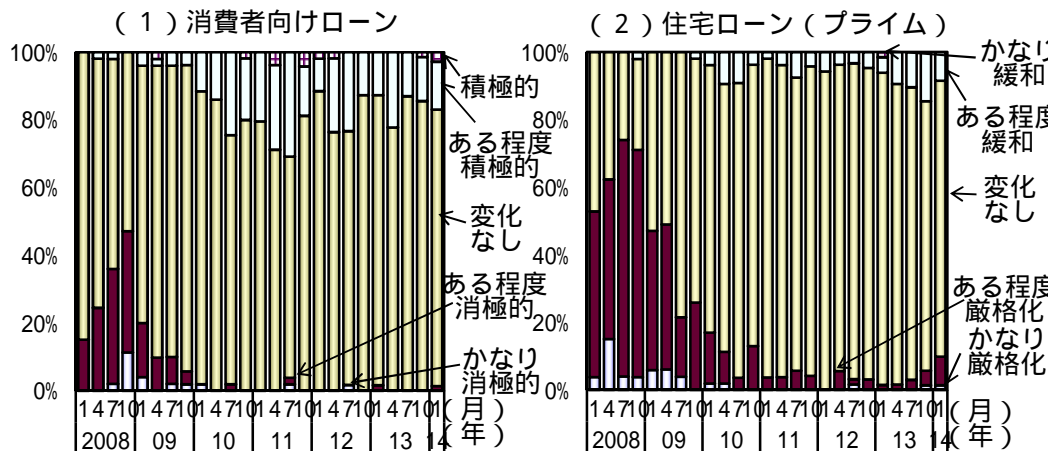
(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。  
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

### 住宅着工はこのところ増勢が鈍化



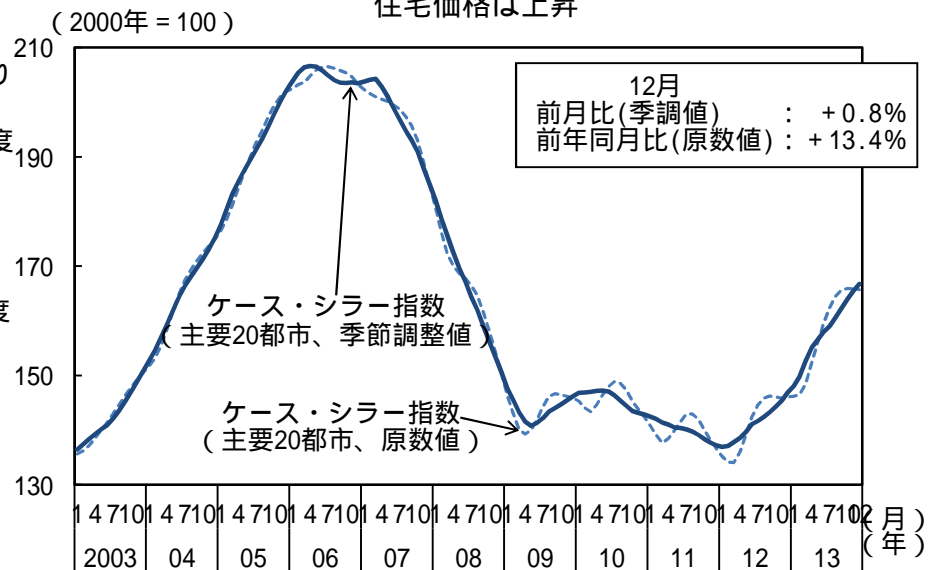
(備考) 13年1月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.9ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(10月)は4.5ヵ月分に相当。

### 金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

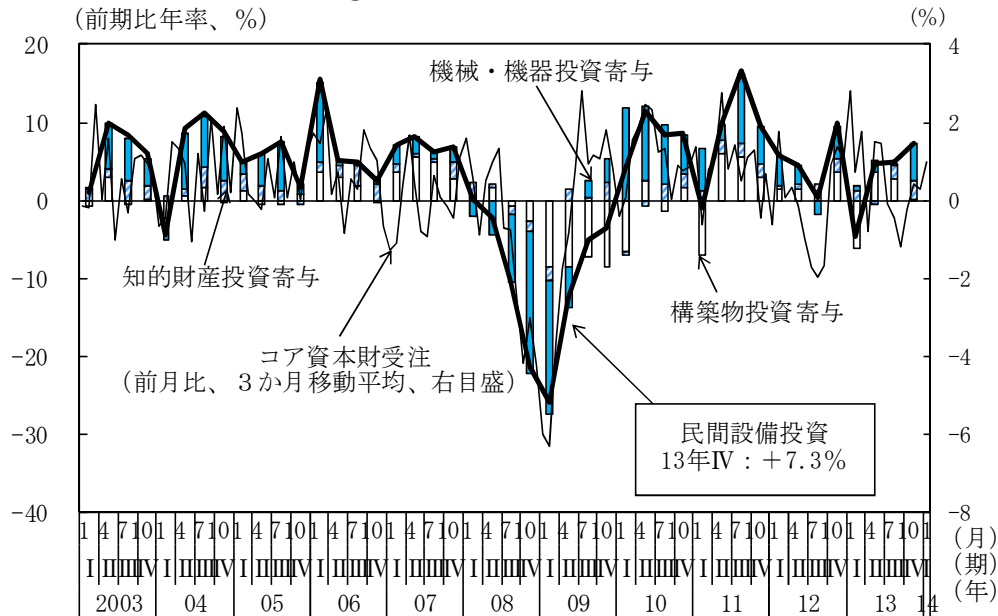


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。  
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

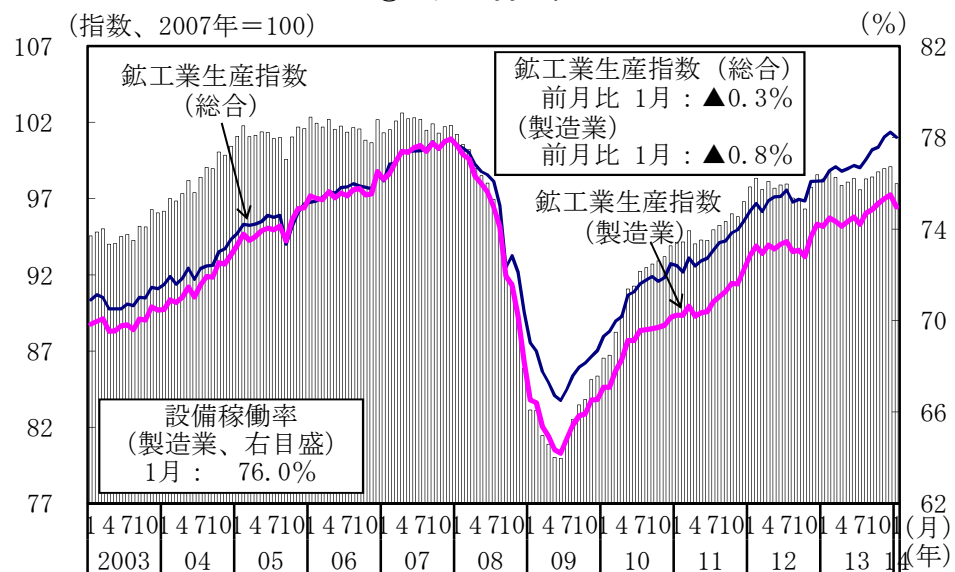
### 住宅価格は上昇



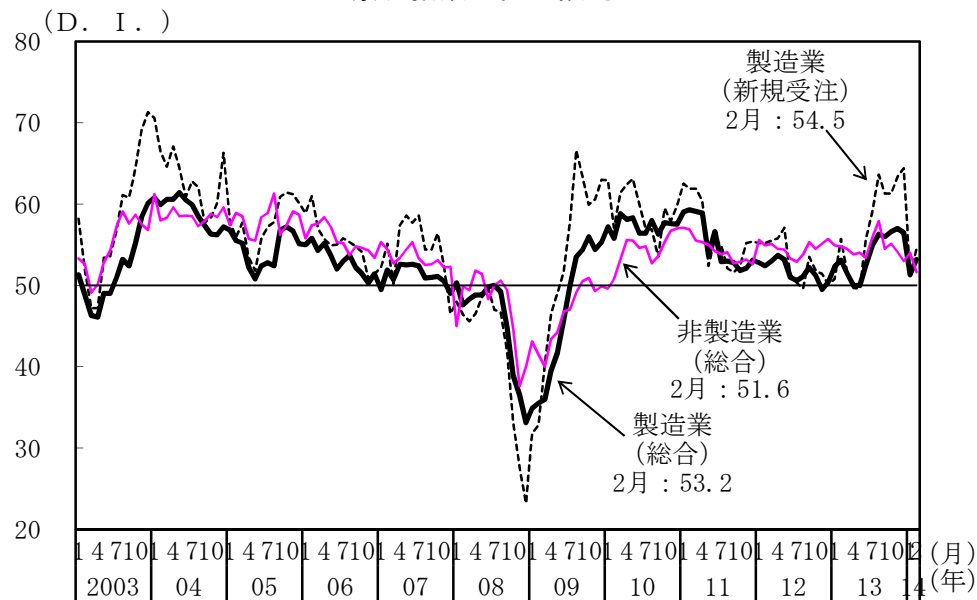
#### ④設備投資は持ち直し



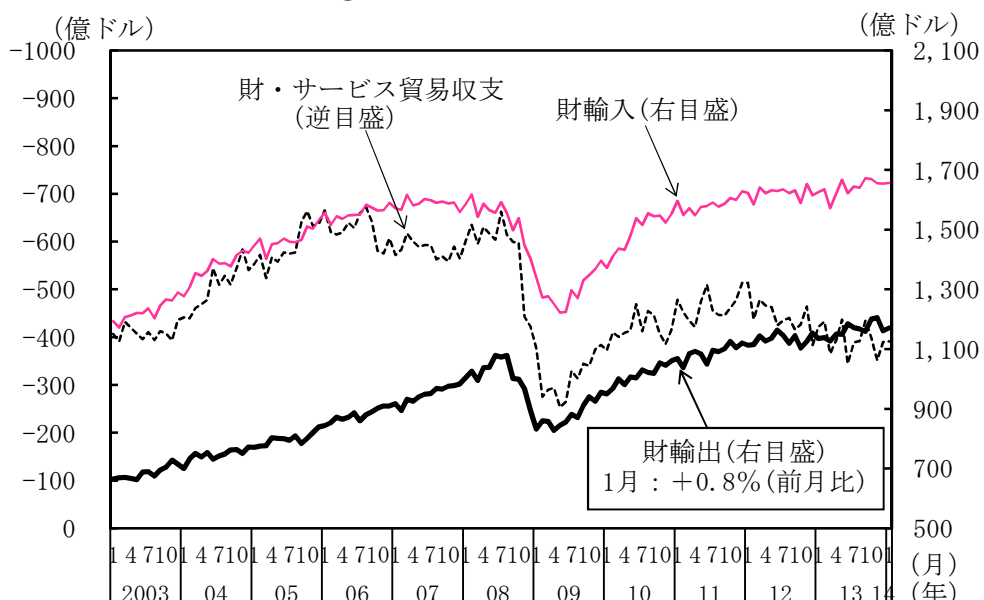
#### ⑤生産は持ち直し



#### 景況指数は低下傾向

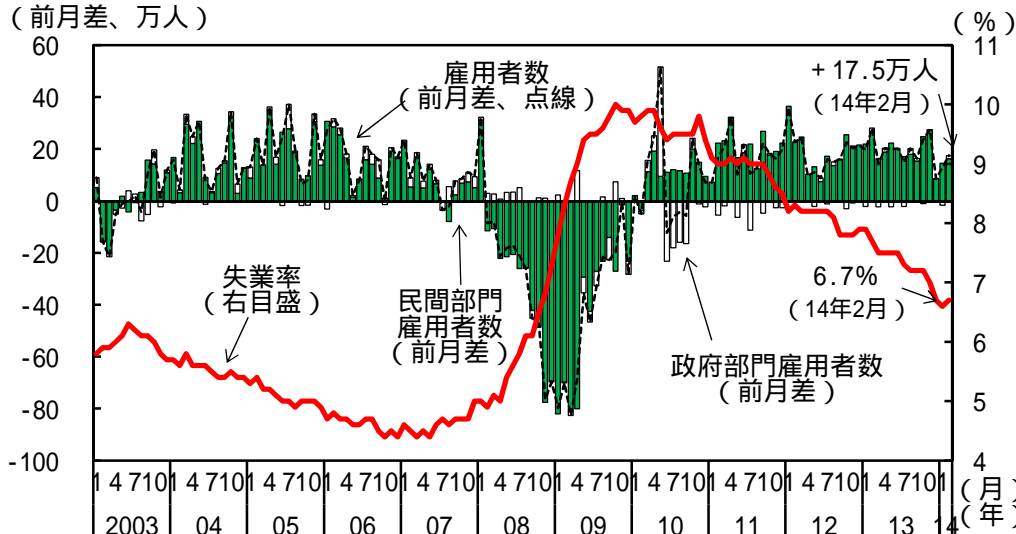


#### ⑥財輸出はおおむね横ばい



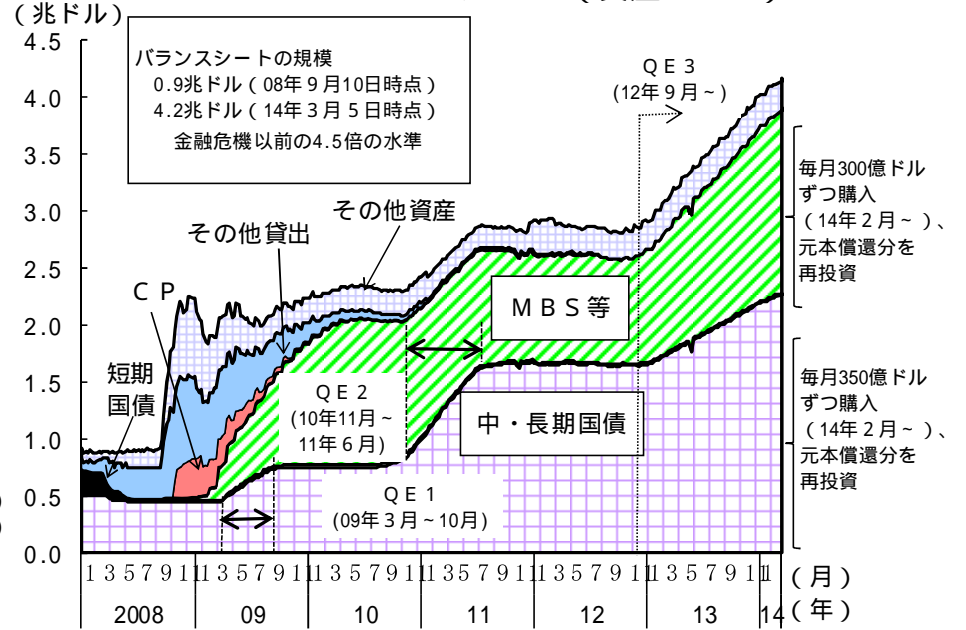
(備考)財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

### 雇用者数はこのところ増勢が鈍化、失業率は低下

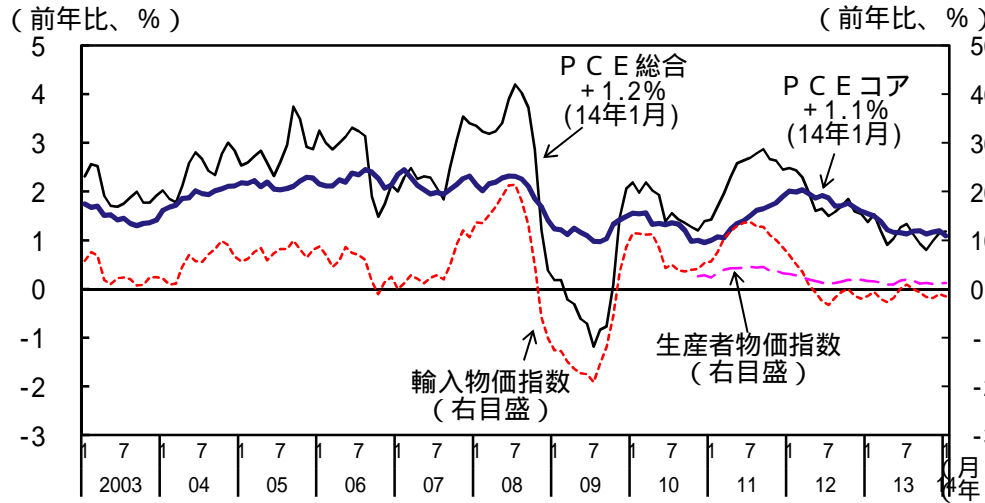


(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。  
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.9万人、10年以降の雇用者数の増減は +801.2万人。

### FEDのバランスシート(資産サイド)

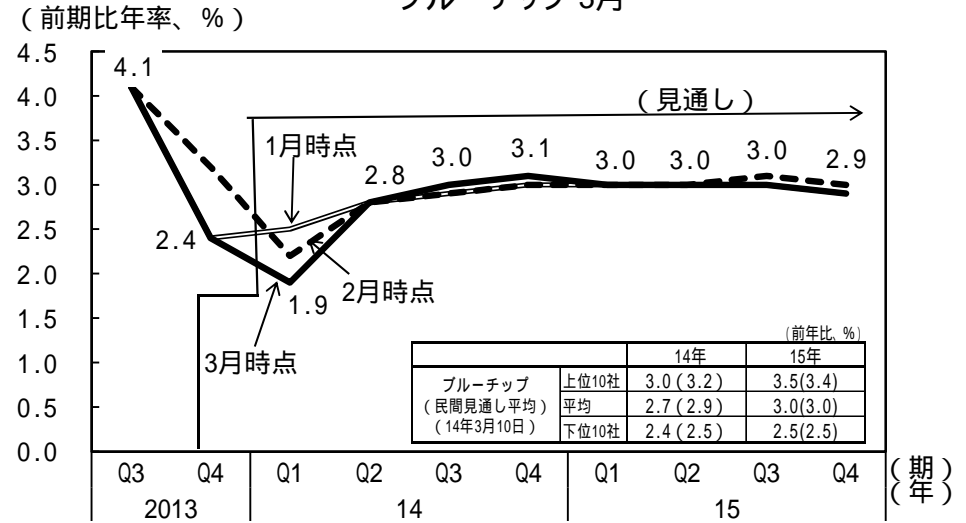


### コア物価上昇率はおおむね横ばい



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

### ブルーチップ3月



(備考) ブルーチップのカッコ内は、14年2月10日時点の見通し。